

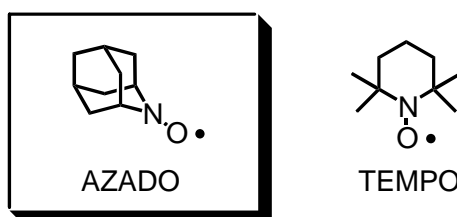
超高活性アルコール酸化触媒AZADOについて

当社が企業化に向け開発を進めているAZADO(国立大学法人東北大学大学院薬学研究科 岩瀬好治教授が見出した超高活性アルコール酸化触媒)が、独立行政法人 科学技術振興機構(以下、JST)における委託事業「平成19年度 産学共同シーズイノベーション化事業 顕在化ステージ」(以下、本委託事業^(注))のテーマとして採択されました。

今回の採択により、JSTより研究開発費が支援されると同時に、技術アドバイス、進捗管理等のサポート体制が生まれ、AZADOの安定供給、適用範囲検討など実用化に向けた開発の大幅なスピードアップが可能となりました。

(注)本委託事業は、大学等の基礎研究に着目し、産業界の視点からシーズ候補を顕在化させ、大学等と産業界との共同研究によってイノベーションの創出に繋げることを目的とする事業です。

【AZADOを用いた酸化反応の特徴】



AZADOはニトロキシルラジカル型の酸化触媒で、Azaadamantane N-oxylの略称です。アルコールから、対応するアルデヒド、ケトン、カルボン酸への酸化が可能です。安価な共酸化剤である次亜塩素酸ナトリウム(NaClO)、亜塩素酸ナトリウム(NaClO₂)とともに使用します。ニトロキシルラジカル型の酸化触媒としては、TEMPOが知られておりますが、比較すると以下の特徴があります。

- ・ 超高活性(触媒量:0.01 mol%、TEMPOの20倍以上の活性)
- ・ 立体障害の大きい2級アルコールの酸化が可能

ファインケミカル分野において酸化反応はプロセスの安全性、酸化剤の毒性、コストの面で回避される傾向が見受けられますが、AZADOを用いる酸化反応は、これら問題点を克服し、低環境負荷といった社会ニーズにも応えることができ、産業界や社会へ貢献可能な新技術であると考えております。

【知的財産権】

当社は、国立大学法人東北大学からAZADO関連化合物の知的財産権の譲渡を受けております。

【AZADOを使った酸化反応の受託】

当社は、AZADOを使った酸化反応の受託を予定しております。ご関心のある方は下記ファインテック事業室までお問い合わせ下さい。

<ファインテック®事業>

<http://www.nissanchem.co.jp/finetech/index.html>

JST「産学共同シーズイノベーション化事業 顕在化ステージ」の概要と、平成19年度公募採択課題はこちらからご覧になれます。

<http://www.jst.go.jp/innovate/>

【問合せ先】

化学品事業本部 ファインテック事業室

電話: 03-3296-8005

FAX: 03-3296-8360

e-mailアドレス: finetech@nissanchem.co.jp

以上